

全国道路施設データベース トンネル

サンプルデータ

令和5年9月

一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所

- 更新履歴

- 2023/09/29 最新情報に更新

サンプルデータ一覧

- 諸元・詳細情報
- トンネル情報一覧
- 点検一覧
- 77条調査項目
- 諸元・基礎情報
- 補修履歴
- 占用物件
- 図面ファイル
- 点検情報
- トンネル本体工
- 附属物等の取付状態
- 近接目視不可
- 調査措置履歴
- 点検付属ファイル

データについて

- R2年度までの詳細データにつきましては、点検様式Excelファイルから機械的に値を抽出し、本システムに登録しました。
- データの欠損などお気づきの点がございましたらご連絡いただきますようお願い申し上げます。
- 個別の写真データにつきましては、現時点では機能自体がありません。今後、機能追加し写真データを格納できるようにしてまいります。
※ダウンロード可能な点検調書で写真の確認が可能です。

データ量

データ	数	備考
トンネル数	1.1万トンネル	
トンネル図面類	1.4万ファイル	
点検数	1.9万点検	
点検調書	1.6万	
トンネル情報	10.1万	
占用物件	0.1万	
補修履歴	1.3万	
トンネル本体工点検	186万	
附属物等の取付状態	15万	
近接目視不可	180	
調査措置履歴	1.1万	
点検付属ファイル	30	
個別点検写真データ		2023年9月時点 個別写真機能無し ※点検調書で写真の確認可能

点検一覧

諸元・詳細情報

トンネル情報一覧

点検一覧

 点検様式アップロード

 77条調査新規

※左のボタンから登録してください。

 移管出し

 トンネル削除

点検年度	点検年月日	定期点検業者	健全度	
2015年度	2015年09月29日		III	点検詳細表示
2019年度	2019年10月31日		II	点検詳細表示
2021年度	2021年12月13日		II	点検詳細表示

77条調査項目

77条調査項目登録

※黄色枠以外のデータを編集すると諸元情報が更新されます。
黄色枠以外の項目は点検毎保持しない共通項目です。

施設ID(※)	34.138.138.138
トンネル名(※)	
別名(※)	
路線名	国道 号
作業用番号	
作業内容フラグ 区分	▼
作業内容フラグ 内訳	▼
作業内容フラグ 内訳補足	
道路種別	一般国道 (指定区間) ▼
建設年度 (西暦)	1970
供用年度 (西暦)	1970
延長 (m)	510.7
幅員(m) ※2022年度から調査開始項目	7.5
トンネルの分類	陸上 ▼
トンネルの施工法	山岳 (矢板) ▼
管理者区分(※)	国 ▼
管理者名(※)	
管理事務所名(※)	
都道府県名	▼
市区町村名	▼
緯度 (10進数)	34.138.138.138
経度 (10進数)	138.138.138.138
距離標 (キロポスト)	
上り・下り線	上下線 ▼
緊急輸送道路	一次 ▼
代替路の有無	有り ▼
通行規制内容	規制なし ▼
通行規制要因	▼
■定期点検情報 ※点検毎保持しているデータです。	
点検実施年度	
点検実施年月日	年 / 月 / 日 <input type="checkbox"/>
調査実施年月日	年 / 月 / 日 <input type="checkbox"/>
トンネル毎の判定区分	▼
附属物取付○ (応急措置後)	
附属物取付×	
点検表記録様式ファイル名	
所見等	
備考	

トンネル台帳

※直轄トンネルのみ

諸元・基礎情報

補修履歴

占用物件

図面ファイル

トンネル台帳

名称	路線番号	現旧区分	現道	整理番号1	12040	
所在地(自)	距離標(自)	0		補助番号	*	
(至)	(至)	10		調製年月日	1993/05/24	
市区町村自	経度自	138.	緯度自	34.	改訂年月日	2018/02/01
市区町村至	経度至	138.	緯度至	34.	施設完成年度	1970年
検査数字自: 7	経緯度取得方法	世界測地系	角度	231	施設改修年度	2014年
検査数字至: 7						

【基本諸元】

分割区分	上下線共用	延長	510.700 m	【トンネル非常用施設】 通報装置 非常用電話 : 3 RE-3号SN 押ボタン通報 : 10 ABN211-R 火災検知器 : * * 自動通報装置 : * * 非常警報装置 警報表示板 : 3 点滅灯 : 1 ? 音信号発生器 : 1 ? 避難誘導設備 誘導表示板 : 3 TACS-VIB 排煙設備 : 6 * 避難通路 : * * 消火設備 消火栓 : 10 ? 消火器 : 20 ? その他の設備 給水栓 : 2 4K-R-MD3 無線通信補助 : * * ラジオ再放送 : 2 JBC-301S-85 拡声放送設備 : 1 割り込み放送 水噴霧設備 : * * I T V : 5 TC2200×5 非常用電源 : 1 ? 非常駐車帯 : * * 方向転換箇所 : * * 【ロードヒーティング】 有無 : 無し 種類 : * 延長 : 0 面積 : 0 備考1 : 一部側壁掘坑先進工法 備考2 : *
一般・有料の別	無料	土被り	50.000 m	
トンネル分類	陸上(掘進工法)	内空断面積	51.000 m ²	
トンネル等級	A	[高さ]		
交通量	32327 台/日	建築限界	4.500 m	
完成年次	1970年	中央高	6.500 m	
トンネル工法	上部半断面先進掘削	有効高	5.000 m	
構造形式種別	一連トンネル	壁面種類	パネル張り工法	
山岳都市型の別	山岳型	天井種類	覆工(内装なし)	
[坑門]		[舗装]		
起点 形式	面壁+突出型	種別	アスファルト系	
延長	4.300 m	厚さ	0.200 m	
終点 形式	面壁型	面積	3570.000 m ²	
延長	2.400 m	[照明]		
[覆工巻厚]		有無	有り	
アーチ	50 cm	種別	ナトリウム灯	
側壁	70 cm	灯数	186	
インパート	50 cm	排水施設の種別	U型+暗渠排水	
[半径]		空頭防護施設有無		
アーチ	475 cm	起点	*	
側壁	9325 cm	終点	*	
インパート	1215 cm	[幅員]		
[線形]		道路幅	7.500 m	
縦断勾配	1.000 %	車道幅	7.000 m	
直線区間長	0.000 m	左側 歩道部	0.000 m	
曲線区間		路肩部	1.000 m	
区間長	510.000 m	車道幅	3.500 m	
A1	250.000 m	車線数	1	
R	500.000 m	中央帯	0.000 m	
A2	250.000 m	中央分離帯	0.000 m	
[他域延長]	検査数字 : *	右側 車線数	1	
市区町村名	*	車道幅	3.500 m	
延長	* m	路肩部	0.500 m	
[通行制限内容]	*	歩道部	0.000 m	
子備1	*	[換気]		
子備2	*	種別・方式	強制(機械)換気 縦流式(噴流式)	
子備3	*	台数	6台	
子備4	*	[現況区分]	*	
子備5	*			

補修履歴

※直轄トンネルのみ

諸元・基礎情報

補修履歴

占有物件

図面ファイル

トンネル台帳

名称 :	路線番号 :	現旧区分 :	整理番号 1 :
所在地(自):	距離標(自) :	現道	12040
(至):	0		補助番号 :
市区町村自:	(至) :	10	*
市区町村至:	経度自 :	緯度自 :	調製年月日 :
検査数字自: 7	138.	34.	1993/05/24
検査数字至: 7	経度至 :	緯度至 :	改訂年月日 :
	138.	34.	2018/02/01
	経緯度取得方法: 世界測地系	角度 :	施設完成年度 :
		231	1970 年
			施設改修年度 :
			2014 年

補修履歴

整理番号 2	補修年月	内容	備考(原因等)	予備
1	199503	その他	H8 530再 誘導線布設フック取付放送架橋付光ケーブル用配管	* * * * *
2	200012	換気設備部分修復	H11 換気設備 稼働時間が分解点検実施時間に達した	* * * * *
3	200011	覆工部その他	H11管内トンネル補修 覆工面の炭素繊維シート貼付による補強	* * * * *
4	200109	その他	H12 内装板設置工事	* * * * *
5	200603	換気設備その他	H17 換気設備修繕工事 換気計測盤の交換	* * * * *
6	200703	監視制御設備その他	平成18年度 画像処理設備工事 画像処理装置新設	* * * * *
10	200703	通報装置取り替え	H18 非常用施設整備工事	* * * * *
20	200703	非常用警報装置取り替え	H18 非常用施設整備工事	* * * * *
30	200903	その他	平成20年度 道路施設修繕工事(既設水路底に配管)	* * * * *
40	200903	換気設備その他	平成20年度 換気設備修繕工事 ジャットファン3台更新 計測設備の新設	* * * * *
50	201001	その他	平成21年度 防災工事 情報ボックス撤去(天井部)	* * * * *
60	201203	排水設備部分修復	送水管敷設L=45.7m H23 維持修繕工事	* * * * *
70	201303	覆工部その他	H24 維持修繕工事 剥落防止シート貼付	* * * * *
80	201307	予備電源設備その他	発電機盤更新 H25 予備電源設備修繕工事	* * * * *

占用物件

※直轄トンネルのみ

諸元・基礎情報

補修履歴

占用物件

図面ファイル

トンネル台帳

名称	:		路線番号	:		現旧区分	:	現道	整理番号 1	:	12040
所在地(自)	:		距離標(自)	:	0				補助番号	:	*
(至)	:		(至)	:	10				調製年月日	:	1993/05/24
市区町村自	:		経度自	:	138.	緯度自	:	34.	改訂年月日	:	2018/02/01
市区町村至	:		経度至	:	138.	緯度至	:	34.	施設完成年度	:	1970 年
		検査数字自: 7				経緯度取得方法: 世界測地系			施設改修年度	:	2014 年
		検査数字至: 7									

■ 占用物件

整理番号	占用物件種別	寸法 (電話・電力→XX梁XX段) (上記以外→φ XXXXmm)	管理者名	予備	種類	更新年次
1	通信ケーブル等	6050	国土交通省	H12 情報BOX * * * *	通信ケーブル	0

図面ファイル

※直轄トンネルのみ

諸元・基礎情報

補修履歴

占用物件

図面ファイル

トンネル台帳

[名称] ■■■■■■■■■■

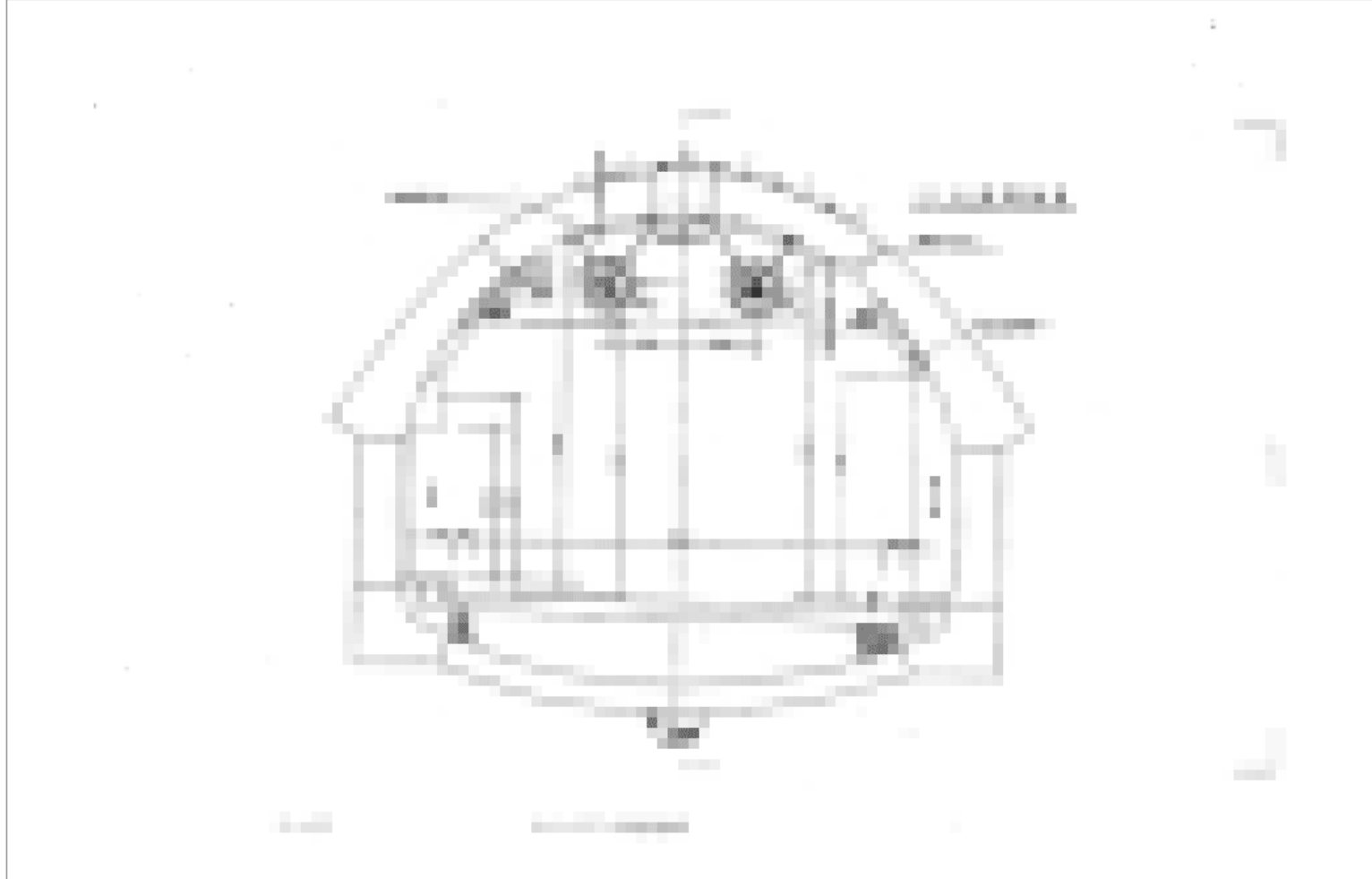
図面種別:標準断面図

図面名称:標準断面図

図面サイズ:A4

整理番号1:12040

整理番号2:2



※サンプルデータのため画像を荒くしています。

図面ファイル

※直轄トンネルのみ

図面情報編集	
図面ファイルID	<input type="text" value="199601010001"/>
図面種類(※)	<input type="text" value="標準断面図"/>
整理番号1	<input type="text" value="12040"/>
整理番号2	<input type="text" value="2"/>
整理番号3	<input type="text" value="0"/>
補助番号	<input type="text" value="*"/>
施設名称	<input type="text" value=""/>
図面名称	<input type="text" value="標準断面図"/>
作成年月	<input type="text" value="日付を選択"/> 年: <input type="text" value="1996"/> 月: <input type="text" value="1"/>
図面サイズ	<input type="text" value="A4"/>
図面媒体名称	<input type="text" value="SERVER"/>
初期登録日付	<input type="text" value="日付を選択"/> 年 / 月 / 日 <input type="text" value=""/>
並び順(※)	<input type="text" value="1"/>

点検情報

点検情報

トンネル本体工

附属物等の取付状態

近接目視不可

調査措置履歴

点検付属ファイル

様式ダウンロード

■点検情報

施設ID: [REDACTED] トンネルID: [REDACTED]

フリガナ	[REDACTED]		路線名	国道	号	管理者名	[REDACTED]		緊急輸送道路	一次				
名称	[REDACTED]		定期点検業者			定期点検年月日	20190625		代替路の有無	有				
所在地	自	[REDACTED]	定期点検者名						トンネル延長	L= 606.000 m				
	至	[REDACTED]							トンネルの分類	陸上				
起点	緯度	34. [REDACTED]	変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体工	材質劣化	Ⅱ	251箇所	Ⅲ	0箇所	トンネル毎 の健全性	Ⅱ	附属物の 取付状態	○ (応急措置後)	0箇所
	経度	136. [REDACTED]			漏水	Ⅱ	97箇所	Ⅲ	0箇所				Ⅳ	0箇所
終点	緯度	34. [REDACTED]			外力	Ⅱ	192箇所	Ⅲ	0箇所					
	経度	136. [REDACTED]												
トンネル変状・異常箇所写真位置図	[REDACTED]													

- ※1 トンネル本体工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- ※2 本体工の変状に対しては、健全性の判定区分Ⅱ～Ⅳについて表記すること。なお、初回点検（H26以降）以降に、措置が行われた結果、Ⅰと判定された箇所についても記載すること。
- ※3 附属物の取付状態の○欄については、応急措置前に判定区分×とした箇所のうち応急措置により○判定とした箇所の数を記入すること。
- ※4 附属物の異常番号は、本体工と番号が重複しないよう101番以降とする等の配慮を行い、分かりやすく記録すること。

トンネル本体工点検情報

点検情報

トンネル本体工

附属物等の取付状態

近接目視不可

調査措置履歴

点検付属ファイル

様式ダウンロード

■ トンネル本体工

フリガナ		路線名	国道 号	定期点検業者		定期点検年月日	20190625
名称		管理者名		定期点検者名			

施工 スパン 番号	変状 番号	距離(m)	変状部位		変状の内容				前回定期点検時の 状態		今回定期点検結果				措置履歴		対応方針 ・ 特記事項	変状詳細(77 条調査)		変状詳細(様式0-1-1)				
			対象 箇所	部位 区分	変状 区分	変状 種類	変状の発生範囲 の規模	前回定期 点検時 との比較	状態	健全 性	対策区分		調査 の 要否	措置 の 要否	実施	措置の 実施状況		健全性		健全性	調査方針	対策履歴	実施 状況 (実施 日)	メモ
											応急 措置 前	応急 措置 後						応急 措置 前	応急 措置 後					
PS	1	0.500	覆工・坑門	アーチ(天端)		うき		進行が認められない	0.3×0.3m	II	II a	II b	否	否			樹脂塗布済み		II	樹脂塗布済み				
S001	1	15.000	覆工・坑門	横断目地(左側)		漏水(にじみ)		新たに発生				II b	否	否					II					
S001	2	15.000	覆工・坑門	横断目地(右側)		塔水工破壊		新たに発生				II b	否	否					II					
S001	3	5.500	覆工・坑門	側壁(右側)		ひび割れ		進行が認められない	0.6mm			II b	否	否					II					
S002	1	21.000	覆工・坑門	アーチ(左側)		ひび割れ		進行が認められない	0.4mm			II b	否	否					II					
S002	2	25.500	覆工・坑門	水平打ち継ぎ目(左側)		うき		進行が認められない	0.5×0.5m	II		II b	否	否					II					
S002	3	22.000	覆工・坑門	アーチ(右側)		うき		新たに発生			II a	II b	否	否			樹脂塗布済み		II	樹脂塗布済み				
S002	4	16.000	覆工・坑門	水平打ち継ぎ目(右側)		うき		新たに発生				II b	否	否					II					
S002	5	25.000	覆工・坑門	水平打ち継ぎ目(右側)		うき		新たに発生				II b	否	否					II					
S002	6	18.000	路面	車道		うき		新たに発生				II b	否	否					II					
S002	7	24.000	路面	車道		うき		新たに発生				II b	否	否					II					
S003	1	32.500	覆工・坑門	アーチ(天端)		変形		進行が認められない	0.3×0.4m			II b	否	否					II					
S003	2	34.000	覆工・坑門	アーチ(天端)		変形		進行が認められない	0.6×0.4m			II b	否	否					II					

附属物等の取付状態

※直轄トンネルのみ

点検情報 トンネル本体工 附属物等の取付状態 近接目視不可 調査措置履歴 点検付属ファイル 様式ダウンロード

■附属物等の取付状態

フリガナ		路線名	国道番号	定期点検業者		定期点検年月日	20190625
名称		管理者名		定期点検者名			

施工スパン番号	異常番号	距離(m)	異常部位		異常の内容		定期点検結果		応急措置の実施状況		対応方針・特記事項	
			対象箇所	部位区分	異常種類	異常の発生範囲の規模	異常判定区分		実施	応急措置の内容		
							応急措置前	応急措置後				
S034	102	357.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S021	101	224.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S022	101	225.100	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S022	102	235.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S023	101	242.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S027	101	284.500	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S028	101	288.300	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	3枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S030	101	317.500	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S031	101	322.500	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S034	101	353.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S020	101	211.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S038	101	393.300	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	2枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S038	102	400.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S040	101	417.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	5枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S042	101	435.600	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	4枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S043	101	445.500	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	2枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み
S043	102	455.000	その他施設	内装板取付部材	取付部材	腐食	1枚	II	II	済	番線での仮留め	応急処置済み

近接目視不可

※直轄トンネルのみ

点検情報 トンネル本体工 附属物等の取付状態 近接目視不可 調査措置履歴 点検付属ファイル 様式ダウンロード

■近接目視不可

フリガナ	■■■■■■■■■■	路線名	国道■■号	定期点検業者	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	定期点検年月日	20190719
名称	■■■■■■■■■■	管理者名	■■■■■■■■■■	定期点検者名			

施工スパン番号	対象箇所	不可能な理由	対応策
\$7, \$8, \$46, \$47, \$49, \$50, \$52, \$53, \$101	覆工	内装板の設置	内装板および内装板周辺の覆工及び路面等の変状状況を目視により確認。

調査措置履歴

※直轄トンネルのみ

点検情報 トンネル本体工 附属物等の取付状態 近接目視不可 **調査措置履歴** 点検付属ファイル 様式ダウンロード

■調査措置履歴

フリガナ	■■■■■	路線名	国道■■号	定期点検業者	■■■■■	定期点検年月日	20191111
名称	■■■■■	管理者名	■■■■■	定期点検者名			

施工スパン番号	変状番号	状態の把握の内容				
		年月日	内容	結果	対策区分の判定	健全性
S1		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	巻厚不足の判定	I	I
S2		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	突発性崩壊の判定	II a	II
S3		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	突発性崩壊の判定	II a	II
S19		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	突発性崩壊の判定	III	III
S20		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	突発性崩壊の判定	III	III
S21		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	突発性崩壊の判定	III	III
S4-S18		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	巻厚不足の判定	I	I
S22-S24		20191108	背面空洞調査（レーダー探査、孔内観測）	巻厚不足の判定	I	I

点検調書

- 下記Excelファイルのダウンロードが可能です。
- 直轄トンネル
 - 様式A～F 道路トンネル定期点検記録様式のExcelファイル
- 地公体トンネル
 - 77条調査の技術的助言版様式のExcelファイル